

指定管理者の管理運営に対する評価シート（年度評価）

所管部課	福祉部 福祉総務課
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

I 指定管理の概要

施設概要	名 称	龍ヶ崎市総合福祉センター			
	所在地	龍ヶ崎市川原代町5014番地			
	関係条例等	龍ヶ崎市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例 龍ヶ崎市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例施行規則			
	設置目的	高齢者の健康増進や教養の向上など、社会福祉を効果的に促進し、高齢者及び身体障がい者の自立的生活の援助並びに心身機能の向上を図ることを目的とする。			
利用料金制		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">非利用料金制</div> ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
指定管理者	名 称	社会福祉法人 龍ヶ崎市社会福祉協議会			
	所在地	龍ヶ崎市3543番地			
	事業内容	(1) 住民の福祉活動促進（ボランティア育成、交流サロン事業など） (2) 地域福祉協働事業（ふれ愛交流事業、生活支援体制整備事業など） (3) 相談支援事業（ふれあい相談サロン事業、日常生活自立支援事業など） (4) 受託事業（元気サロン松葉館、ふるさとふれあい公園など） (5) 指定事業所部門（障害福祉サービス事業所あざみ・ひまわり園など）			
指定管理業務の内容		(1) 事業に関する業務 ① 高齢者の健康増進・介護予防、教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ② 入浴サービスに関する業務 ③ 長寿会連合会の運営補助に関する業務 ④ 市の敬老会事業に関する業務 (2) 施設運営に関する業務 ① 総合福祉センターの使用に関する業務 ② 利用者サービスの提供に関する業務 ③ 広報・宣伝に関する業務 (3) 施設の管理に関する業務 ① 建築物及び設備の保守管理に関する業務 ② 環境維持管理に関する業務 ③ 施設保全に関する業務 ④ 物品管理に関する業務 ⑤ 危機管理に関する業務 (4) 自主事業 (5) その他の業務			
指 定 期 間		令和6年度～令和10年度（5年間）			
総合評価（年度評価）		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		B			

1. 魅力ある講座・イベントを企画するとともに、広報に力を注ぎ、新規利用者の獲得に努めること

令和 5 年度からの新規講座であるポールウォーキング講座・スマホ講座・パッチワーク講座を継続して開催したほか、昨年度のアンケートにおいて健康づくりへの関心が高いという結果を踏まえ、新たに体力づくり講座「朝活！フィットネス講座」を開講した。また、季節の行事として演芸会と芋煮会の二つの趣向を合わせた「年忘れ交流会」を開催し、多くの来館者を迎えることができ、総合福祉センターを知ってもらう良い機会となった。

そのほか、団体利用の促進と認知向上のため、広報紙やホームページ、SNS、動画配信サイトなど様々な媒体を活用した広報活動を展開した。周知に当たっては、施設の内観や使用のイメージがより伝わるよう、実際の講座や行事の様子を写真や動画にし、視覚に訴える工夫をした。

2. WEB アンケートを実施するなど、広く市民ニーズを収集し、今後の施設運営の向上に反映すること

毎年実施している施設利用者へのアンケート調査については、より多くの利用者からの意見を取り入れるため、設問を再検討し、調査期間も以前よりも長くするなど、回答者の増加を目指したが、期待するほどの効果は得られなかった。

また、WEB アンケートについては、導入の検討を行ったが実現には至らなかった。

2 評価結果

評価基準及び評価のポイント		配点	評価 RANK	得点
Ⅰ 【有効性】施設の設置目的の達成に関する取組み など		50	-----	36
(Ⅰ) 施設の設置目的の達成に向けた取組み		30	A (R5:B)	24 (R5:18)
① 事業計画書等で示す各種事業やイベントは適切に行われたか。また、当該年度の管理運営目標を達成できたか。				
② 施設の利用者数の増加や利便性を高めるための取組みがなされたか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られたか。				
④ 施設及び備品は適切に維持管理がなされたか。				
⑤ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動がなされたか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
① 施設及び設備の運営・維持管理が適切に行われている。また、事業計画書に基づく年間管理運営スケジュール表を作成し、各事業、主催イベント、施設の管理運営状況を毎月市と指定管理者が相互にチェックする体制を設け、共通認識のもと目標達成に向けた取組がなされている。 管理運営目標は、令和 6 年度の数値目標である利用者数 24,300 人に対して、実績は 34,226 人、昨年度比 6,150 人増という結果となり、当該年度の数値目標は達成できている。新型コロナウイルス感染症の影響があった令和 2 年度以降では最も多い数値であり、堅調な回復傾向が続いている。				
② 前年度のアンケートで健康づくりへの関心が高いという結果を踏まえ、新規事業として体力づくり講座「朝活！フィットネス講座」を実施した。そのほか、市内団体との協働事業による「ストレッチ講座」や「ポールウォーキング講座」、「スマホ講座」、「パッチワーク講座」を昨年に引き続き開催し、定例的に行われる活動に参加できる場を提供することで、仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりに寄与している。				
③ 障害福祉サービス事業所あざみ・ひまわり園（指定管理者が運営）の通所者が作成した作品やふるさとふれあい公園で作成した縫製作品を総合福祉センターの廊下に「アートギャラリー」として常設展示した。施設内の印象も明るくなり、作品を見に多くの人々が来場した。また、長寿会連合会主催イベント				

や人気の高い太極拳講座は、隣接するふるさとふれあい公園を利用した。その一方、ふるさとふれあい公園内で活動する縫製創作グループの方をパッチワーク講座の講師とする等、地理的利点を活用した施設間の相乗効果が図られている。

④ 施設、機器の整備、備品は定期的な点検が行われ、市に報告されている。修繕が必要な場合は市と指定管理者が事前に調整し、計画的に実施されている。令和6年度は深井戸水中ポンプの更新工事を実施した。

⑤ 施設の紹介を広報紙（社協だより）やホームページで随時掲載した他、SNSによる動画が定期的に配信されている。また、館内のデジタルサイネージにてイベントの様子を放映する等、施設の魅力を高める情報が発信されている。更に、高齢者が多く集まる敬老会において施設案内のチラシを配布した他、近隣の高齢者や長寿会会員を招待した「年忘れ交流会」を開催するなど、高齢者の興味を高める取組がなされている。

指定管理者が主催する交流事業「ふれ愛縁日広場」や「ふれ愛クリスマス」の会場として、普段の利用者とは異なる児童とその保護者・学生・ボランティアが施設を使うことで、認知度の向上に寄与するとともに若者への福祉意識の醸成を図るという活用もされている。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。	20	B (R5:B)	12 (R5:12)
② 利用者の意見を把握し、それを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他利用者満足度を向上させるための具体的な取組みがなされたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

① 個人利用者及びクラブ活動・団体活動利用者を対象としたアンケート調査を実施し、128人（個人利用：51人、団体利用77人）から回答が寄せられている。施設全体の満足度では「満足」「やや満足」の合計が95%であり、5段階評価として数値化した全体満足度の数値は4.53となっており、市の要求水準（4.0以上）を満たす高い満足が得られている。

② 利用者から寄せられた意見・要望については、適切に市に報告されており、改善できる点については早急に対応されている。また、本年度に実施した主催イベントや新規講座等は令和5年度のアンケート結果が反映されている。

③ 利用者同士のトラブル及び施設に関する苦情が生じた場合は、迅速かつ丁寧に対応し、穏便な解決に努めている。また、本年度は、市長への手紙で入浴施設の利用者に関する苦情が1件寄せられ、指定管理者に連絡し対応を求めたところである。

④ 機器故障等による施設利用中止の案内は、速やかに指定管理者のホームページ、館内の掲示、デジタルサイネージによる周知に加え、必要に応じて個別に連絡し、高齢者に配慮した対応がなされている。また、イベントについては事前告知に加え、その様子を動画で放映し、利用者の視点に立った周知を実施している。

⑤ 利用者の交流の場及び施設を利用するきっかけづくりとして「年忘れ交流会」を12月に開催した。第1部の演芸会（参加者90人）、第2部の芋煮会（参加者290人）の2部構成としたことにより、普段施設を利用したことのない方を含め、多くの来場者を迎えることができ、大変好評であった。

また、恒例行事である長寿会連合会による高齢者作品展・つるし雛展（2～3月）は、多くの方が出展作品の鑑賞を楽しみに来館され、一般利用者や近隣の介護事業所からも親しまれている。

評価基準及び評価のポイント		配点	評価 RANK	得点
2 【効率性】 効率性の向上等に関する取組み		20	-----	12
(1) 指定管理業務に係る経費の低減 など		20	B (R5:B)	12 (R5:12)
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減させるための取組みがなされたか。				
② 収支計画に沿った予算の適切な執行がなされたか。				
③ 清掃や警備、設備の保守点検等の業務は適切な水準で行われたか。また、再委託している場合は経費が最小限となるよう工夫がなされたか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
① 居室の配置関係や高齢者が集う施設であることを考慮しながら、支障がない範囲でこまめな消灯や空調の設定温度を管理し、率先して節電に努めている。				
② 年度協定書に定められた指定管理料に対し、予算の範囲内で計画的に管理運営がなされており、収支に差額が生じた場合には、社会福祉協議会へ交付している補助金から返納されている。				
③ 清掃や警備、設備の保守点検等は、市から第三者への再委託の許可を受け、市の要求水準どおり適切な管理が行われている。また、再委託の契約は見積合わせの結果を踏まえて契約を締結している。警備業務は、指定管理者が管理する他の施設（地域福祉会館・ひまわり園）と併せて委託することで、経費の縮減が図られている。				

評価基準及び評価のポイント		配点	評価 RANK	得点									
3 【適正性】 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み		30	-----	18									
(1) 施設の管理運営の実施状況 など		15	B (R5:B)	9 (R5:9)									
① 施設の管理運営に当たる人員は適切に配置され、また適切な雇用・労働環境のための取組みがなされたか。													
② 職員の資質・能力向上のための取組みがなされたか。													
③ 地元貢献（地域経済活性化や地域との連携など）のための取組みがなされたか。													
【評価の理由、要因・原因分析】													
① 事業計画書に基づき、4人（管理者1人・担当者3人）で施設の管理運営に当たっている。人員が適切に配置されており、就業規則に基づいた適切な環境のもとで業務が行われている。													
② 市に準じた人事評価制度が導入され、職員の指導と育成が適切に行われている。													
<table><tr><td>研修名</td><td>実施時期</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>人事評価研修</td><td>9月27日、1月15日</td><td>4人</td></tr><tr><td>消防・避難訓練</td><td>8月6日、2月25日</td><td>職員4人・利用者</td></tr></table>					研修名	実施時期	参加人数	人事評価研修	9月27日、1月15日	4人	消防・避難訓練	8月6日、2月25日	職員4人・利用者
研修名	実施時期	参加人数											
人事評価研修	9月27日、1月15日	4人											
消防・避難訓練	8月6日、2月25日	職員4人・利用者											
③ 長寿会の協力を得た清掃作業（施設周辺の除草やゴミ拾い、花壇・花木の手入れ等）を年3回実施し、長寿会との連携・協働を図るとともに施設周辺の環境美化に努めた。													
また、近隣の社会福祉施設が栽培している花苗を購入し、障がい者の自立支援に貢献している。													

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など		15	B (R5:B)	9 (R5:9)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されていたか。				
② 利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。				
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。				
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
<p>① 登録番号制度による受付方法が定着し、個人情報の保護が図れているとともに、OA 機器を活用したシステム管理による適切な利用者管理がなされ、情報セキュリティにも万全の注意を払っている。</p> <p>市内の公益法人で構成する個人情報保護審査会を設置し、個人情報保護規定に則した、適切な取扱いがされている。</p> <p>② 様々な方（個人利用者・団体・クラブ）が利用している中、特定の者に偏ることなく、平等な取扱いがされている。また、共通の理解と円滑な管理運営に資する内規を遵守し、適切に運用されている。</p> <p>③ 利用者等の体調急変においては、職員・看護師による迅速な対応を基本とし、救急車による搬送までの対応をマニュアル化する等、高齢者ならではのリスク管理がなされている。また、浴槽の残留塩素濃度の測定（1 日 2 回）や脱衣所の室温調整を行い、入浴時における安全対策を講じている。また、施設内外の照明及び器具類の点検、館内・駐車場の見回りを毎日実施し、事故防止に努めている。</p> <p>④ 非常時連絡体制を整備し、緊急対応マニュアルを事務室内に掲示する等、有事の際には迅速に対応できる体制を整えている。また、不審者への対応として、施設内外に録画機能を有する防犯カメラを設置し、安全管理に努めている。</p> <p>⑤ 令和 6 年度における事故や非常災害等の発生は無かった。</p> <p>定期的に防災訓練や AED 講習会を実施し、非常時に適切な対応ができる体制整備に努めている。</p>				

評価 RANK	得点率	評価 RANK の内容
S	100%	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている。
A	80%	目標（計画）を上回る管理運営がなされている。
B	60%	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている。
C	40%	目標（計画）を下回る管理運営がなされている。
D	20%	目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている。
E	0%	不適切な管理運営がなされている。

【総合評価】

合計得点	66 点 (R5:60)	総合評価	B (R5:B)
<p>[総評]</p> <p>本年度の総利用者数は 34,226 人（昨年度比 6,150 人増）となり、目標値である 24,300 人を上回る実績となった。アンケート結果を踏まえた新規事業を実施したことや、各種講座を継続して実施することにより、安定的な利用者の確保ができているとともに、広報紙や SNS、動画配信など積極的な広報活動を展開したことで、認知度が上がり利用者増に繋がったものとする。新型コロナウイルス感染症の影響により施設の利用を制限したことで、令和 2 年度以降は一時的に利用者が減少したが、順調に利用者数が回復してきていることから、適切な施設運営が行われているものと評価できる。今後も更なる利用者増、施設稼働率の向上を図るための事業・取組を実施し、将来的にはコロナ禍以前の最高利用者数である 41,129 人を超える利用を達成できるよう更なる努力を期待したい。</p> <p>市指定管理者選定委員会からの前年度指摘等事項への対応については、広報活動及び高齢者の需要喚起に対応するイベントの創出に注力し、参加者数及び満足度も高かったことから、概ね適切に実施されたと評価できる。一方で、広く市民ニーズを取集する手法としては、利用者アンケートの設問項目を、より利用者ニーズを把握しやすい内容に変更するなど、一定の工夫は見られるが、アンケート回答者数が増えていないことや、全市民向けの WEB アンケートの実施も検討はしたが実現に至っていないことから、今後の課題として取り組んでいただきたい。</p>			
<p>[改善を要する事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報活動及び利用需要を創出できる事業・取組を展開し、利用者数の増加を図ること。 広く利用者ニーズを把握し施設運営に反映させるよう、アンケートの手法を再検討すること。 			

総合評価	総合評価の内容	合計得点
S	特に優れていると認められる。	90 点以上
A	優れていると認められる。	70 点以上 90 点未満
B	適正であると認められる。	60 点以上 70 点未満
D	努力を要すると認められる。	50 点以上 60 点未満
E	相当の努力を要すると認められる。	50 点未満

【龍ヶ崎市指定管理者選定委員会の意見】

<p>令和 6 年度の総利用者数は 34,226 人と、前年度と比較して 6,150 人の増となっており、新規事業の企画等により、緩やかではあるが新型コロナウイルス感染症以前の水準に戻りつつある点は評価できる。また、長寿会連合会の活動拠点として高齢福祉の増進に寄与する一方、長寿会連合会に加入していない新規利用者の獲得のため、引き続き魅力あるイベントを企画するとともに、積極的な広報活動にも取り組んでいただきたい。</p> <p>また、利用者数に対して、アンケートの回収率が低いため、対象者の拡充、実施方法、回収方法等についても検討いただきたい。</p>

管理運営実績データ

施設名	龍ヶ崎市総合福祉センター							
	・ 高齢者の健康増進・介護予防、教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ・ 入浴サービスに関する業務 ・ 長寿会連合会の運営補助に関する業務 ・ 市が主催する敬老会事業の業務支援 ・ 施設及び設備の維持管理に関する業務 ・ イベント等の開催							
事業計画の内容								
運営状況	・ 開館日数：308 日／開館時間：9：00～17：00／休館日：日曜日、年末年始（12/29～1/3）。 ・ 職員配置：4 人（施設管理者 1 人（管理職）、担当者 3 人（正職員 2 名、嘱託職員 1 人） 【主なイベント・講座・クラブ等の開催】							
	シルバーリハビリ体操	毎週 月	10～11 時					
	囲碁クラブ	毎週 火・土	9～12 時					
	健康マージャン	毎週 火・木	12～16 時					
	太極拳	毎週 水	13～15 時					
	思い出を語ろうかい	第 2・4 金	10～12 時					
	ストレッチ講座	第 2・4 金	13～14 時					
	・ その他のイベント：花見会（4 月）、年忘れ交流会（12 月） ・ 職員研修の参加：人事評価研修（9・1 月）、消防・避難訓練（8 月・2 月）							
	実績	利用状況	年度	項目	実績	前年度比	備考	
			R 2	開館日数	308 日	—	R6 年間利用目標者数 24,300 人 ※ 令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として一部施設の利用制限を行っており、主要な居室（集会室・浴室・教養娯楽室・多目的室など）の開室日数は 260 日。 令和 4～6 年度は上記による休館・利用制限は無し。	
利用者数				16,329 人	44.5%			
R 3			開館日数	308 日	—			
			利用者数	18,184 人	111.4%			
R 4			開館日数	308 日	—			
			利用者数	22,883 人	125.8%			
R 5			開館日数	307 日	—			
			利用者数	28,076 人	122.7%			
R 6			開館日数	308 日	—			
			利用者数	34,226 人	121.9%			
実績			利用料（使用料）収入及び減免の状況	年度	項目	実績	前年度比	備考
				R 2	使用料	62,400 円	277.3%	・ 使用料は、60 歳未満の方が利用する場合において徴収する。 （1 日 300 円）
	R 3	53,100 円		85.1%				
	R 4	9,900 円		18.6%				
	R 5	9,000 円		90.9%				
	R 6	56,100 円		623.3%				
	※ 令和 2・3 年度は、茨城県総合健診協会による地元事業所を対象とした集団検診に使用されたため使用料が増加しているが、令和 4 年度からは条例の改正により徴収の対象から外れたため、大きく減少している。 令和 6 年度は 60 歳未満の利用者（延べ 187 人）が多かったため、大きく増加している。							

アンケートの実施状況

・アンケート調査：令和 6 年 8 月～12 月実施

個人利用者（回答数：51 人）

質問事項	回 答					
性別	男性 24 人(47%)	女性 27 人(53%)				
年齢	60 歳未満 0 人	60～64 歳 0 人(0%)	65～69 歳 1 人(2%)	70～74 歳 4 人(8%)	75～79 歳 23 人(45%)	80 歳以上 23 人(45%)
市内外の利用	市内 48 人 (94%)	市外 3 人(6%) (市町村名無記載)				
利用頻度	ほぼ毎日 8 人(16%)	週 1～3 回 5 人(10%)	月 1～3 回 8 人(16%)	不定期 25 人(48%)	はじめて 5 人(10%)	
来館の 交通手段	徒歩 1 人(2%)	自転車 6 人(12%)	オートバイ 0 人()	バス 1 人(2%)	自家用車(自 身で運転) 32 人(63%)	自家用車 (送迎) 9 人(17%)
	タクシー 0 人	その他 2 人(4%)				
入浴施設の使 いやすさ	とても良い 12 人(37%)	良い 14 人(42%)	普通 7 人(21%)	あまり良く ない 0 人	悪い 0 人	
入浴施設の管 理状況(清掃)	とても良い 14 人(42%)	良い 12 人(37%)	普通 7 人(21%)	あまり良く ない 0 人	悪い 0 人	
ヘルストロン の使いやすさ	とても良い 10 人(32%)	良い 15 人(49%)	普通 6 人(19%)	あまり良く ない 0 人	悪い 0 人	
ヘルストロン の管理状況 (清掃)	とても良い 11 人(35%)	良い 13 人(42%)	普通 7 人(23%)	あまり良く ない 0 人	悪い 0 人	
施設の良い ところ (複数回答)	豊かな自然が感 じられる 22 人	スペース が広い 13 人	設備が充実 している 8 人	色々な目的で 利用できる 12 人	気持ちが 落ち着く 9 人	気軽に利 用できる 15 人
	親しみやす さがある 9 人	スタッフの 対応が良い 7 人	その他 0 人			
施設の悪い ところ (複数回答)	草木の管理 が不十分 1 人	スペースが 狭い 3 人	設備が良く ない 2 人	用途が少 ない 3 人	居心地が 悪い 1 人	利用方法が分 かりづらい 1 人
	親しみを感じ られない 0 人	スタッフの 対応が悪い 0 人	その他 0 人			
関心がある もの (複数回答)	健康増進 13 人	IT (パソコ ン・スマホ) 7 人	暮らしに役 立つもの 11 人	季節感のあ るイベント 12 人	シニア向け スポーツ 19 人	生活相談 2 人
	その他 1 人	特にな い 3 人				
全体を通して 満足して利用 しているか	満足 24 人(53%)	やや満足 16 人(36%)	やや不満 0 人	不満 0 人	どちらとも言 えない 5 人(11%)	

クラブ活動・団体活動利用者（回答数：77人）

質問事項	回 答						
性別	男性 26 人(34%)	女性 51 人(66%)					
年齢	60 歳未満 3 人(4%)	60～64 歳 4 人(5%)	65～69 歳 6 人(8%)	70～74 歳 26 人(34%)	75～79 歳 27 人 (35%)	80 歳以上 11 人(14%)	
市内外の利用	市内 71 人(92%)	市外 6 人(8%)					
利用頻度	ほぼ毎日 3 人(4%)	週 1～3 回 26 人(34%)	月 1～3 回 36 人(47%)	不定期 10 人(13%)	はじめて 2 人 (2%)		
来館の 交通手段	徒歩 3 人(4%)	自転車 13 人(17%)	オートバイ 0 人	自家用車 56 人(73%)	コミュニテ ィバス 1 人(1%)	家族・知人の送 迎 4 人(5%)	
	タクシー 0 人	その他 0 人(0%)					
どの部屋を 利用するか	多目的室 23 人(30%)	集会室 20 人(26%)	会議室 23 人(30%)	教養娯楽室 A 10 人(13%)	教養娯楽室 B 0 人(0%)	その他 1 人(1%)	
施設は利用 しやすいか	とても良い 31 人(41%)	良い 31 人(41%)	普通 14 人(18%)	あまり良くない 0 人(0%)	悪い 0 人(0%)		
清掃は行き届 いているか	とても良い 27 人(36%)	良い 33 人(43%)	普通 15 人(20%)	あまり良くない 1 人(1%)	悪い 0 人(0%)		
施設の良い ところ (複数回答)	豊かな自然が 感じられる 42 人	スペースが 広い 34 人	設備が充実 している 8 人	色々な目的で 利用できる 18 人	気持ちさが落 ち着く 9 人	気軽に利 用できる 35 人	
	親しみやす さがある 17 人	スタッフの 対応が良い 20 人	その他 0 人				
施設の悪い ところ (複数回答)	草木の管理 が不十分 2 人	スペース が狭い 8 人	設備が良 くない 5 人	用途が少 ない 6 人	居心地が 悪い 0 人	利用方法が分 かりづらい 6 人	
	親しみを感じ られない 3 人	スタッフの 対応が悪い 1 人	その他 0 人				
関心がある もの (複数回答)	健康増進 41 人	IT (パソコ ン・スマホ) 6 人	暮らしに役 立つもの 9 人	季節感のあ るイベント 12 人	シニア向け スポーツ 22 人	生活相談 3 人	
	その他 1 人	特にな い 6 人	・お風呂				
全体を通して 満足して利用 しているか	満足 46 人 (61%)	やや満足 29 人 (38%)	やや不満 0 人	不満 0 人 (0%)	どちらとも言 えない 1 人 (1%)		

事業費内訳
(単位：円)

決 算			予 算		
収 入			収 入		
	指定管理料	46,445,000		指定管理料	46,445,000
	繰越金	0		繰越金	0
	計	46,445,000		計	46,445,000
支 出			支 出		
	人件費	25,597,000		人件費	25,597,000
	職員給料	14,107,000		職員給料	14,107,000
	職員賞与	5,115,000		職員賞与	5,115,000
	非常勤職員給与	2,844,000		非常勤職員給与	2,844,000
	法定福利費	3,531,000		法定福利費	3,531,000
	事業費	824,117		事業費	1,063,000
	給食費	0		給食費	37,000
	消耗器具・備品費	101,802		消耗器具・備品費	104,000
	車両費	127,280		車両費	197,000
	諸謝金	556,435		諸謝金	591,000
	通信運搬費	0		通信運搬費	9,000
	会議費	0		会議費	55,000
	広報費	32,000		広報費	61,000
	租税公課	6,600		租税公課	9,000
	事務費	16,032,996		事務費	19,785,000
	福利厚生費	112,000		福利厚生費	112,000
	事務消耗品費	365,427		事務消耗品費	496,000
	水道光熱費	3,443,508		水道光熱費	4,385,000
	燃料費	4,552,890		燃料費	5,625,000
	修繕費	702,830		修繕費	1,300,000
	通信運搬費	236,494		通信運搬費	284,000
	業務委託費	5,997,430		業務委託費	6,387,000
	手数料	106,631		手数料	107,000
	保険料	208,208		保険料	236,000
	賃借料	307,578		賃借料	853,000
	計	42,454,113		計	46,445,000
※収支差額(3,990,887円)は、市より龍ヶ崎市社会福祉協議会へ交付している補助金から同額を返納している。					